

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究演習

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究演習 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： （ 詳説世界史探究（山川出版） ）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、社会に見られる課題の解決に向けて構想する力を身につける。さらに考察、構想したことを効果的に説明し、そのうえでそれらを基に議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会を実現するための課題を主体的に解決しようとする態度を養う。日本や他国の文化を尊重することの大切さを自覚し、深める。

科目 世界史探究演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが周辺諸国の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。	・中世～現代への歴史の変遷と、諸世界の関連性について考察し、表現している。 ・原典史料から読み取った情報の意味や意義、特色などを自ら考察し、表現している。	・世界史を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めつつ、3年生の受験科目として必要な知識・思考力を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 第9章 大交易・大交流の時代 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】 ・大航海時代の展開によりこれまでの地域が一つの世界として繋がる過程を理解する。 ・教皇権が衰退し、絶対王政の時代へと移り変わる様子を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・史料を基にして、当時の人々の異文化への興味・関心について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度等】 ・キリスト教の宗派の分裂や宗教改革の内容が現代にどのように繋がるかを自ら考察する。	・指導事項 第9章 1. アジア交易世界の興隆 2. ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 第11章 1. ルネサンス 2. 宗教改革 3. 主権国家体制の成立 4. オランダ・イギリス・フランスの台頭 5. 北欧・東欧の動向 6. 科学革命と啓蒙思想	【知識及び技能】 ・15世紀末～16世紀にかけてのヨーロッパ社会の変遷を理解する。 ・スペイン、ポルトガルを中心とした勢力からイギリス、フランスへとヨーロッパの中心国家が移り変わる 【思考力、判断力、表現力】 ・日常生活の中に世界史とつながっているものを見出し、自分自身と世界とのつながりを多面的・多角的に考察している。 ・資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について自らが抱いた興味・関心や疑問、追及したいことを見出して学習に取り組もうとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○	○	1

1 学 期	B 単元 第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 【知識及び技能】 ・イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を理解する。 ・革命中のフランス国家の変遷、ウィーン体制の内容と動揺について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イギリス産業革命がどのように起こったのか、発生の背景を説明できるようになる。 ・フランス革命期からウィーン体制期にかけての国際情勢について説明できるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度等】 ・イギリス産業革命やアメリカ独立戦争、フランス革命などのテーマについて自ら関心を持ち学習に取り組んでいる。	・指導事項 第12章 1. 産業革命 2. アメリカ合衆国の独立と発展 3. フランス革命とナポレオンの支配 4. 中南米諸国の独立 第13章 1. ウィーン体制とヨーロッパ政治・社会の変動 2. 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3. アメリカ合衆国の発展 4. 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	【知識・技能】 ・イギリス産業革命が18世紀後半から始まった背景を理解する。 ・フランス革命が起こった歴史的背景を理解する。 【思考・判断・表現】 ・冬至の候上の様子を描いた資料を基に、イギリス産業革命が社会に与えた影響を説明できる。 ・ウィーン会議に関連する資料や地図を用いて多面的・多角的に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・18世紀以降のイギリス・フランスなどについて自らが興味を抱いたテーマについて自主的に理解を深めようとしている。	○	○	○	29
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	C 単元 第16章 第一次世界大戦と世界の変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 【知識及び技能】 ・第一次世界大戦の発生理由を理解する。 ・マウリヤ朝、クシャーナ朝など、インドの統一王朝について理解する ・戦後の国際秩序がどのように構成されるか理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・様々な新兵器や軍需工場で働く女性の図などの諸資料を基に、第一次世界大戦を多面的・多角的に説明できる。 ・政治的な図説や経済的な資料を基に世界恐慌下の各国における変容について多面的・多角的に説明できる。 【主体的に学習に取り組む力等】 ・第一次世界大戦と戦後の国際社会について興味・関心を抱いたテーマについて自ら調べ学習する。	・指導事項 第16章 1. 第一次世界大戦とロシア革命 2. ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3. アジア・アフリカ地域の民族運動 第17章 1. 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2. 第二次世界大戦 3. 新しい国際秩序の形成	【知識・技能】 ・第一次世界大戦とロシア革命の展開について理解する。 ・第一次世界大戦後の国際秩序の内容やその特徴について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「十四か条」の資料を基に、1920年代の世界の構築について考え、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・第一次世界大戦、ロシア革命、戦間期について自ら抱いた興味・関心や疑問、追求してみたいことを見出して学習に取り組もうとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	D 単元 第18章 冷戦と第三世界の台頭 第19章 冷戦の終結と今日の世界 【知識及び技能】 ・米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。 ・1960年代～1990年代の冷戦の展開と終結の時代を理解する、 【思考力、判断力、表現力等】 ・「スターリン批判」の史料を元に、冷戦下における東西両陣営の社会の変化について説明できる。 ・各地の状況を示した資料を基に、今日の世界の課題について多面的・多角的に説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度等】 ・1950～2020年代まで、自分が興味を持った時代について進んで調べようとしている。	・指導事項 第18章 1. 冷戦の展開 2. 第三世界の台頭とキューバ危機 3. 冷戦体制の動揺 第19章 1. 産業構造の変容 2. 冷戦の終結 3. 今日の世界 4. 現代文明の諸相	【知識・技能】 ・米ソ両国と第三世界の関係について理解する。 ・1960年代～2020年代にかけての各国の経済・社会の変化について理解する。 【思考・判断・表現】 ・各時代及び各地の様子を写した図説資料を基に今日の世界が抱える課題について考え、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・冷戦初期から戦後世界について、自ら抱いた興味・関心や疑問、追求してみたいことを見出して学習に取り組もうとしている。	○	○	○	26
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	特別授業実施	共通テスト・私大問題演習実施	特別授業				37
							合計
							140